

令和6年度第1回津島市民病院経営評価委員会（R6.10.9）

評価委員意見等抜粋

■収入増加対策

- 医師の確保について、研修医が初期研修後に残ってもらえるよう、地域性を踏まえた採用も考慮されたい。
- 研修医の確保について、地域枠医学生の採用も含め、引き続きフルマッチが続けられるよう努められたい。
- 救急車受入数について、今年度7月以降の大幅な増加は評価できる。
- 手術件数について、今年度7月以降増加しており良い傾向にある。

■経費削減対策

- 看護職の時間外勤務時間数について、令和6年度7月以降の増加が顕著。要因分析のほか、今後の業務持続性も含め適切に対処すべき。
- 経費削減について、不要な電気を消す等、小さな事を積み重ねることも考慮されたい。実際の削減効果額は小さいものの、職員の節減意識醸成は肝要。

■職員意識の改善

- 職員の意識啓発について、日々の状況（稼働率等）を電子カルテへ掲示する等により全職員で共有すべき。更には、そこに具体的な目標値の明示もあるとよい。
- 医師の働き方改革について、時間外勤務が多い傾向にある医師の状況把握等は上席者がこまめに行い、個々に削減を促されたい。
- 看護師の業務効率化について、入眠センサー等の業務改善ツール導入を検討してはどうか。

■事務職員の強化

- 事務職員について、病院運営業務は専門性が高いことから、医事・経営部門等にはプロパー職員の配置も有用と思われる。
- 医師事務作業補助者について、医師のタスクシフトを進めるにあたり、その活用は重要。教育やスキル管理のほか、勤務体制のあり方等について、他院の状況も参考に運用を進められたい。